

Newsletter



Institute for International Monetary Affairs
(財)国際通貨研究所

躍進するオランダの Triodos Bank

オルタナティブ・バンクの経営上の課題

(財) 国際通貨研究所
開発経済調査部 主任研究員
杉本 章

sugimoto@iima.or.jp

<要旨>

- ① オランダのオルタナティブ・バンクである Triodos Bank が業容を急拡大させている。金融活動を通じて社会・環境に貢献し、社会の持続的発展を達成しようとする理念が人々から強く支持されている。
- ② 理念を具体的に実現する投融資活動は、自然・環境分野、社会的事業分野、文化・社会分野に渡り、特に環境分野が大きく伸びている。
- ③ Triodos Bank の銀行としての経営は決して簡単ではない。崇高な理念が人々の支持を集め、預金が急増する一方、オルタナティブ・バンクとしての理念を充足する融資先の開拓が追い付かないのである。一部投資ファンドにおいても資金が集まり過ぎて同様の現象が起きている。良質な投融資先の開拓が銀行経営上最も重要な課題となっている。

<本文>

1. Triodos Bank とは

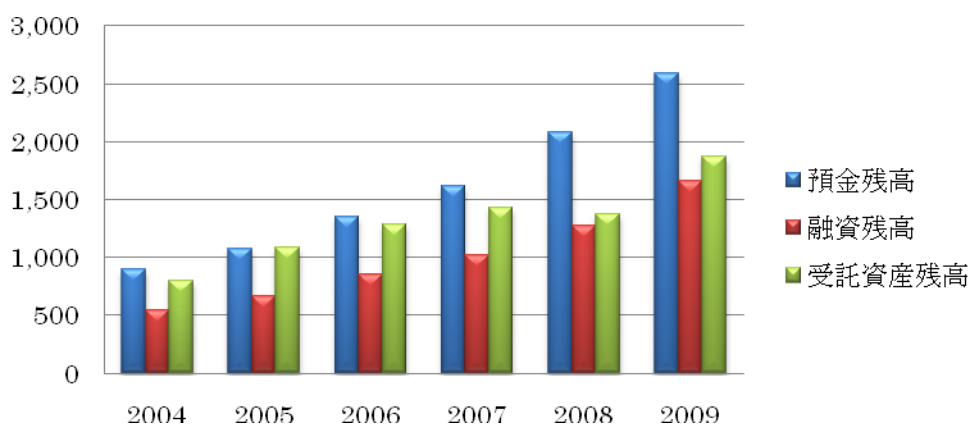
Triodos Bank はヨーロッパを代表するオランダのオルタナティブ・バンクである。オルタナティブ・バンクとは、金融活動を通じて社会・環境に貢献し、社会の持続的発展の達成を目指す銀行のことである。Triodos Bank の理念はその名前に表現されている。古代ギリシャ語の TRI HODOS / three-way から由来しており、i) 人本位のアプローチ、ii) 環境アプローチ、iii) 金融アプローチを意味している。預金者や投資家のサポートのもと、社会的責任を自覚して、人と環境に貢献しようとする企業やプロジェクトにファイナンスする金融の仲介者となることを Triodos Bank は使命としている。

Triodos Bank の起源は、1968 年にオランダのエコノミスト、税法の教授、経営コンサルタント、銀行家が、社会の持続的発展のためにお金はどう使われるべきかをテーマとする研究グループを組成したことに遡る。1971 年に寄付や貸付により社会の持続的な発展を目指す革新的なプロジェクトや企業を支援する Triodos 基金が設立され、1980 年にオランダ中銀からのライセンスを得て銀行事業を開始した。その後、1993 年ベルギー、1995 年英国、2004 年スペイン、2009 年ドイツに拠点を展開し現在に至っている。また長年に渡る活動が評価され 2009 年に Financial Times の Sustainable Bank of the Year を受賞した。

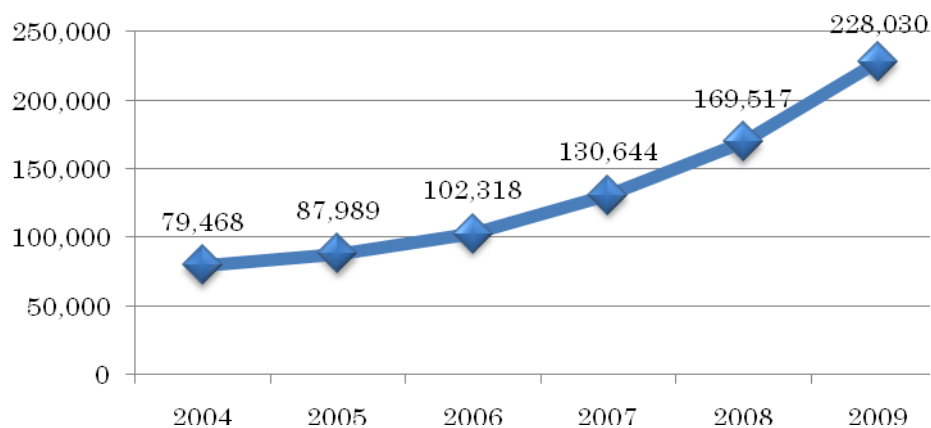
2. 急増する預金、増大する環境分野での資金需要

Triodos Bank の業容が急拡大している。2009 年末時点の預金残高は前年比+5.1 億ユーロ / +25.9% (図表 1)、預金口座数は前年比+5.9 万口座 / +34.5% (図表 2) と大幅に増加している。一方投融資は、①自然・環境、②社会的事業、③文化・社会の 3 分野を対象に行われており、銀行融資残高は前年比+3.9 億ユーロ / +30.8% (図表 1) と急増している。その中で特に自然・環境分野が前年比+2.3 億ユーロ / +38.9% と顕著な伸びを示しているが (図表 3)、環境関連の融資残高が 6.8 億ユーロと大きなシェアを占め、資金需要の強さを反映して前年比+2.0 億ユーロ / +42.4% と大きな伸びを見せていることが背景にある。また、銀行融資とは別に Triodos Investment Management が投資ファンドを通じた投融資を行っており、その受託資産残高は前年比+3.9 億ユーロ / +30.8% (図表 1) と同様に拡大している。

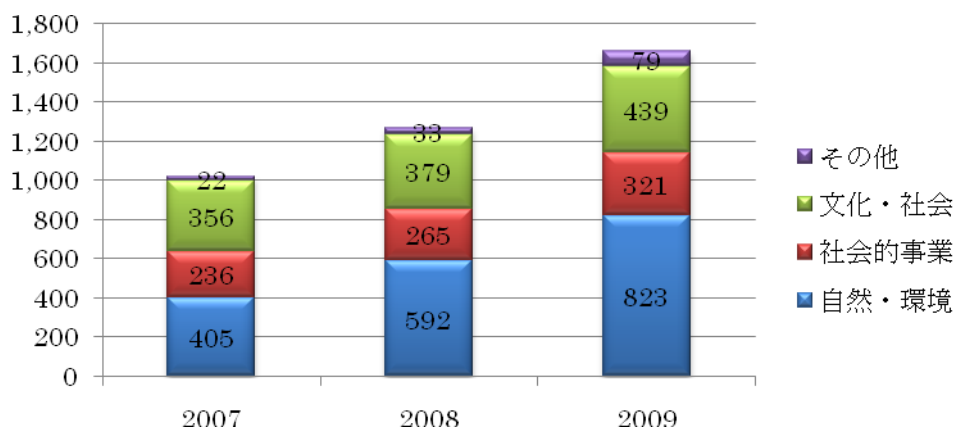
(図表 1) 業量推移 (単位：百万ユーロ)



(図表 2) 預金口座数推移



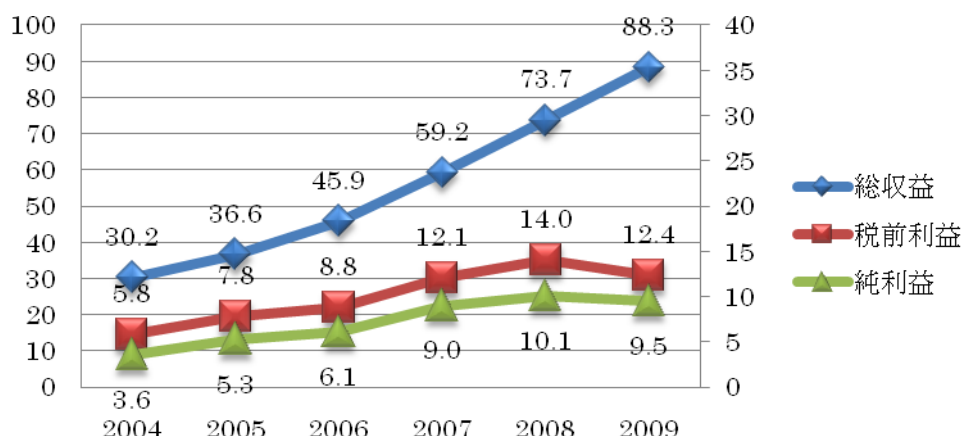
(図表 3) 分野別融資残高推移 (単位：百万ユーロ)



(出典) Triodos Bank Annual Report 2008 / 2009

業容の拡大を受けて収益状況も良好である。2009年の総収益は前年比+14.6百万ユーロ/+19.8% (図表4) で、主な収益源は金利収益 52.7百万ユーロ (前年比+8.6百万ユーロ/構成率 59.7%)、手数料収益 29.4百万ユーロ (前年比+5.2百万ユーロ/構成率 33.27%) となっている。但し税引き前利益、純利益は前年対比減益であった。営業経費 70.5百万ユーロ (前年比+14.9百万ユーロ)、不良債権償却損 5.0百万ユーロ (前年比+1.8百万ユーロ) の増大が影響している。

(図表4) 利益推移 (単位: 百万ユーロ)



(出典) Triodos Bank Annual Report 2008 / 2009

3. 持続可能な社会の構築を目指した投融資活動

Triodos Bank は、①自然・環境、②社会的事業、③文化・社会の3分野に銀行融資を行っている他、Triodos Investment Management は3分野の中からテーマを定めてファンド資金による投融資を行っている。また3分野の他に社会的責任投資、未公開株投資をテーマとする投資ファンドもある。

① 自然・環境分野

持続的な環境プロジェクト及び組織にファイナンスを行っている。例えば、環境保全や環境負荷の高い技術を新しい持続的な技術に置き換えるプロジェクトを採り上げている。主な融資対象は、i) 有機農業 (耕作、酪農、食肉、林業、園芸)、ii) 有機食品 (食品販売、食品加工、レストラン)、iii) 再生可能エネルギー (風力、太陽光、水力、バイオマス)、iv) 環境保全 (土地開発、自然開発)、v) 環境技術 (リサイクル、運輸) である (図表5)。この中で特に再生可能エネルギーの資金ニーズが高い。

(図表 5) 自然・環境分野融資残高

(単位：百万ユーロ)

セクター	2007年	2008年	2009年
i) 有機農業	52	62	81
ii) 有機食品	51	54	63
iii) 再生可能エネルギー	222	390	573
iv) 環境保全	68	66	81
v) 環境技術	12	20	25

(出典) Triodos Bank Annual Report 2008 / 2009

ファンドにおいても再生可能エネルギーが投資テーマの中心である(図表 6)。2009年には欧州で275件の再生可能エネルギー・プロジェクト(うち風量発電175件、太陽光発電85件)がファイナンスされ、1,000メガワット/63万家庭分相当の電力を発電、年間80万トンの二酸化炭素排出削減が達成された。

(図表 6) 自然・環境分野ファンド残高

(単位：百万ユーロ)

ファンド名	投資対象	2007年	2008年	2009年
Triodos Groenfonds NV	再生可能エネルギー、 有機農業、サステイナブル不動産	493	471	572
Triodos SICAV II - Triodos Renewables Europe	再生可能エネルギー	19	25	30
Triodos Renewable Energy Fund PLC	再生可能エネルギー	48	45	53
Ampere Equity Fund*	再生可能エネルギー	1	12	50
Stichting Triodos Renewable Energy for Development Fund*	再生可能エネルギー	5	5	5

*機関投資家向けファンド

(出典) Triodos Bank Annual Report 2008 / 2009

尚、オランダ政府は1995年に環境保全プロジェクトに低利の資金供給を促すグリーン・ファンド・スキームを創設した。投融資対象となる事業が適格プロジェクトとしてグリーン認証された場合、預金者または投資家は税の優遇措置を享受できる他、資金調達者はその優遇措置に見合った低金利の借入が可能となる。Triodos最大のファンドであるTriodos Groenfondsはオランダ初のグリーン・ファンド・スキームに則った投資ファンドであり、再生可能エネルギー、有機農業、サステイナブル不動産を投資対象としている。

② 社会的事業分野

社会に対して付加価値をもたらす事業であるかどうかことが重要視され、採り上げ基準に適合している製品またはサービスに対してファイナンスを行っている。融資対象は、i) 食品を除く小売（玩具、書籍、衣料品）、ii) 製造（印刷、出版）、iii) プロフェッショナル・サービス（コンサルタント、調査、建築士）、iv) レジャー（公園、キャンプ場、エコツーリズム）、v) 住宅、vi) 社会プロジェクト、vii) フェアトレード（小売、卸売）、viii) 開発協力（マイクロファイナンス、認定フェアトレード商品、認定自然食品）である（図表 7）。

（図表 7）社会的事業分野融資残高

（単位：百万ユーロ）

セクター	2007 年	2008 年	2009 年
i) 小売（除く食品）	15	16	17
ii) 製造	9	8	9
iii) プロフェッショナル・サービス	41	44	49
iv) レジャー	48	57	53
v) 住宅	40	49	99
vi) 社会プロジェクト	44	46	54
vii) フェアトレード	9	10	9
viii) 開発協力	30	34	30

（出典）Triodos Bank Annual Report 2008 / 2009

ファンドの投融資対象は、マイクロファイナンス、トレードファイナンス、サステイナブル不動産である。マイクロファイナンス・ファンドは、発展途上国の低所得者層に金融サービスを提供することを目的としている。4つのファンドを通じて中南米、アジア、アフリカおよび東ヨーロッパの40カ国以上で100以上のマイクロファイナンス金融機関に投融資、その内19金融機関に出資、役員を派遣している。フェアトレード・ファンドは、農産物の収穫時期に必要な資金を農家に融資している。アフリカ、南米を中心に17カ国、コーヒー、大豆、豆、果物を中心に13品目に対するファイナンスを行っている。サステイナブル不動産・ファンドは、既存の不動産物件の省エネ化のファイナンスを目的としている。省エネ化により空室率が低下、賃貸キャッシュ・フローが安定し、物件価値が高まるような不動産案件を投資対象としている。

(図表 8) 社会的事業分野ファンド残高

(単位：百万ユーロ)

ファンド名	投資対象	2007年	2008年	2009年
Triodos SICAV-II - Triodos Microfinance Europe	マイクロファイナンス	-	-	40
Triodos Fair Share Fund	マイクロファイナンス	37	60	83
HIVOS - Triodos Fund*	マイクロファイナンス	39	45	45
Triodos-Doen*	マイクロファイナンス	47	58	69
Triodos Sustainable Trade Fund*	フェアトレード	-	7	9
Triodos Groenfond NV	サステイナブル不動産、 再生可能エネルギー、 有機農業	493	471	572
Triodos Vastgoedfond NV	サステイナブル不動産	68	88	84

*機関投資家向けファンド

(出典) Triodos Bank Annual Report 2008 / 2009

③ 文化・社会分野

自由で責任ある人間として生きたいという人の願いを実現する事業や組織へのファイナンスを行っている。人よりもビジネスを優先する組織には融資を行わない。融資対象は、i) 教育（学校、訓練・会議センター）、ii) 保育（デイケア・センター、幼稚園）、iii) 医療・介護（病院、介護、ホスピス）、iv) 芸術・文化（視覚芸術、パフォーマンス、文化センター、映画）、v) 人生哲学（瞑想センター、精神宗教的グループ）である（図表 9）。

(図表 9) 文化・社会分野融資残高

(単位：百万ユーロ)

セクター	2007年	2008年	2009年
i) 教育	58	63	62
ii) 保育	22	22	24
iii) 医療・介護	187	198	239
iv) 芸術・文化	50	61	69
v) 人生哲学	39	34	46

(出典) Triodos Bank Annual Report 2008 / 2009

芸術・文化を投資対象とする Triodos Cultuurfonds は芸術・文化の育成を金融面から支援している（図表 10）。

(図表 10) 文化・社会分野ファンド残高

(単位：百万ユーロ)

ファンド名	投資対象	2007年	2008年	2009年
Triodos Cultuurfonds	芸術・文化	68	74	139

(出典) Triodos Bank Annual Report 2008 / 2009

4. オルタナティブ・バンクの経営課題：預金急増に追い付かない融資先開拓

一般的にオルタナティブ・バンクは人々から支持を集め、注目されるケースが多いが、銀行経営の観点からは必ずしも順風満帆ではない。オルタナティブ・バンクが目指す社会的使命が銀行業務における制約要因になりやすいのである。例えばドイツのオルタナティブ・バンクである Noa Bank が今年倒産に追い込まれて話題となった。ドイツの人々は環境、文化、健康の促進を通じて持続的な社会を構築しようとする同行の理念に深く共感し、Noa Bank には短期間のうちに 3 億ユーロもの預金が集まった。好条件の預金金利が提示されていたことも預金者にとっては魅力であった。その一方で Noa Bank は融資先の開拓に苦戦し、同行の理念にかなう融資は 6 千万ユーロしか実行できなかった。苦し紛れに同一グループ内のファクタリング会社への融資に走り、そこで発生した 2.6 千万ユーロの焦げ付きが引き金となり最終的に倒産に至った。

Triodos Bank でも預金残高が融資残高を上回るペースで増加している。2009 年末時点のバランスシートを見ると、預金 25.8 億ユーロに対して融資 16.6 億ユーロとなっており、預貸比率 64.3%の預金超過の状況である。

特に最近の預金増加の背景の一つには、金融危機をきっかけに、人々が自分のお金をマネーゲームではなく社会的に意義ある形で運用したいと願う傾向が強まったことが挙げられる。加えて Triodos Bank では 2008 年以降、インターネット・バンキングの機能及びインターネット預金の商品性改善に取り組んでおり、その戦略が預金者獲得につながっているという側面もある。オルタナティブ・バンクも一般銀行と同様に、高品質なワンストップ・サービスの提供により利便性を高め、顧客・収益基盤の強化を図っているのである。

Triodos Bank は預貸比率 70%を目標としているが、近年は 61%～64%の水準にとどまっており、余剰資金は金融機関への預け金、国債等の形で運用されている。無理な融資は行わないという姿勢は評価できるが、クライテリアに適合する良質な融資先の開拓に苦労している様子が伺える。

投資ファンドの一部も良質な投融資先の開拓に困っている。Triodos 最大の Triodos Groenfonds が今年上期に募集を停止した。当ファンドはグリーン・ファンドとしてオランダ政府から税の優遇措置を受けているが、ファンドの流動資金の 70%以上を投資しなければならない規定となっている。投資家からの資金が集まり過ぎたため、この規定の順守が困難となり、募集を一時的に停止せざるを得なくなったのである。

オルタナティブ・バンクは理念に共感する人々のサポートのもと、預金を集めることには苦勞しない事が多い。事業の適正規模以上に資金が集まり過ぎる事がむしろ問題になる。不透明感の高まる経済環境下、クレジットリスクをうまくコントロールしながら、オルタナティブ・バンクとしての理念を充足する融資先の開拓を進めることが銀行経営上最も重要な課題となっている。オルタナティブ・バンクのリーダー的存在である Triodos Bank がこの課題をいかに解決していくか、今後も注目して参りたい。

以 上

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しく願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2010 Institute for International Monetary Affairs (財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: 3-2, Nihonbashi Hongokucho 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 103-0021, Japan

Telephone: 81-3-3245-6934, Facsimile: 81-3-3231-5422

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2

電話 : 03-3245-6934 (代) ファックス : 03-3231-5422

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>